

## 夢を広げるオープンファクトリー やよい 自由資料

応募資料に掲載できなかった、オープンファクトリーにおいて、私たちが提供したアイデアや企画が下記になります。

### ●株式会社アクセスライフさん

クライアントからの提案として、オープンファクトリーに参加したお客さんが経口補水液やハンドクリームを作ったり、粉薬を袋に詰めたりする体験があった。そうした中で、薬局や薬剤師の魅力を少しでも伝えるために、紙芝居を作成し、体験までの待ち時間等で実施できるようにした。他にも、企業側にクイズをする提案などもした。



### ●植田油脂株式会社さん

このイベントの目的は、各企業がどんなことをしているのかを地域の人に知ってもらうことだった。そうした中で、クライアントの要望は、廃油のリサイクルをもっと多くの人にしてもらいたいということだった。そのために、私たちはオープンファクトリーに参加した小学生を対象に、廃油のリサイクルの仕組みや、環境保全に対する行動をわかりやすく伝えるために、クイズを作ったりイラストを描いたりして、できるだけ簡単な言葉にして説明を行った。

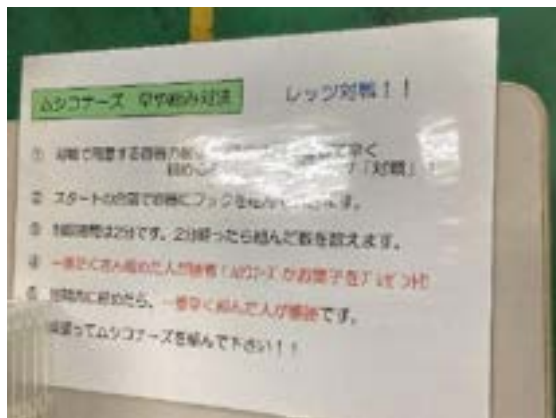
### ●株式会社京伸さん

「京伸」という企業名から何をしている会社なのかが一目で理解することが難しく知名度があまり高くないということを改善することが課題だった。とはいえ、ただどういう会社か説明するだけではなく、子どもたちに実際に最新のマシンなどを使って体験をしてもらうことでより会社を理解してもらえるように努めた。特に、クライアントが計画した「金属の板を使ってテンセグリティ構造を組み立てる」企画を、子どもたち向けに進めるにあたって危ないところや、怪我をしそうなところを探したり、その改善案を提案したりした。また、テンセグリティに加えて子どもたちのために出来ることのないか考え、工場見学のルートで危険な場所がないかもクライアントと共に確認した。



### ●共栄化成株式会社さん

クライアントからの要望で、まずは工場見学の際の説明を小学生向きになるようにアイデアを提供した、また、小学生に体験をしてもらうことも目的だった。共栄化成さんはムシコナーズという製品のプラスチック部分を製造している企業だったことから、私たちは小学生がより楽しめるようにムシコナーズのプラスチックを組み立てる競争をできるようにした。



### ●明星金属工業株式会社さん

クライアントからは「学生ならではの視点から、どのようにすれば子どもたちに工場働くことに興味を持ってもらえるか」を考えてほしいとのことだった。私たちは、工場見学での説明内容をちゃんと理解してもらうことと、その工場見学に楽しんで参加してもらうことが必要だと考えた。そこで、明星金属工業さんから頂いた工場見学の説明が書かれた台本に、子どもたちがより分かりやすくなるよう手を加えた。具体的には、難しい言葉を簡単にしたり、重さを「象何頭分」などに置き換えたり、説明の際にクイズを用いることを提案した。それと同時に、イベント当日は実際に私たちが案内役としてクイズを用いながら説明を行った。

